

1 学校経営計画

1 教育目標

学び いかす子 思い あらわす子 きたえ いどむ子

2 学校経営の基本理念

「元気いっぱい あいさついっぱい 笑顔いっぱいの学校をつくろう」

3 学校経営の基本方針

日本国憲法及び教育基本法等の教育関係法規、学習指導要領の目標及び内容、栃木県教育振興基本計画2025-とちぎ教育ビジョン-、佐野市学校教育指導計画の方針を踏まえ、以下の基本方針の下、全教職員の創意と工夫により、豊かな心を持ち、心身共に健康で実践力のある児童の育成を目指す。

- 将来を見通した知・徳・体の調和のとれた教育課程の編成と着実な実践を通し、「生きる力」の育成に努める。
- 生命尊重・人権尊重を教育活動の基盤とし、児童一人一人を大切にした教育活動の実践に努める。
- 教育公務員としての使命を自覚した教職員が、指導力の向上に努め、協働して職務の遂行に努める。
- 学校・家庭・地域との連携・協働により、開かれた学校、特色ある学校づくりに努める。

4 目指す児童像

- 自主的・主体的に学び、生きて働く知識・技能で、変化する社会に対応できる児童
- 自分の思いを表現し、「怒」をもって接することができる児童
- 心と体を鍛え、自らの可能性を発揮し、挑戦する児童

5 目指す学校像

- ・児童が安心して通学でき、楽しく学べる学校
- ・保護者の思いに寄り添い、子どものよさを伸ばす学校
- ・地域の教育力を活かす学校
- ・教職員の能力を活かし、協働する学校

6 目指す教職員像

- ・温かさや厳しさをもって児童に接する教職員
- ・互いのよさを認め、高め合う教職員
- ・使命感をもって職務を遂行する教職員

7 本年度の重点

- (1)教職員としての使命を自覚し、一人一人が指導の在り方について創意工夫を図りながら、協力し合って、教育目標の具現化を図る。
- (2)児童一人一人の自主性・主体性を大切にし、それぞれのよさや可能性を活かし、伸ばす指導の充実を図る。
- (3)確かな学力の定着を図るとともに、児童一人一人が自ら課題を見付け、解決できる力を付ける。
- (4)教育活動全般において、心の教育の充実を図り、児童の豊かな人間性や社会性を育む。
- (5)学校環境緑化活動をはじめ、教育環境の整備・改善に努め、安全且つ心の潤う教育環境づくりに努める。
- (6)児童に「生きる力」を育む指導の向上を目指し、教職員としての資質向上につながる研修に積極的に取り組む。
- (7)本校の伝統や学校規模の特性を生かした特色ある学校づくりに努める
- (8)保護者や地域、関係諸機関等との連携を密にし、児童の安全と健全育成を図ると共に、地域に信頼される開かれた学校づくりに努める。
- (9)小中一貫佐野北推進ブロックの小中連携、小小連携を一層推進するため、情報交換を積極的に行い、創意ある教育活動の創出に努める。

8 本年度の努力点と具体策

- (1) 調和のとれた学校経営の推進
 - ア 創意工夫を生かした教育課程の編成と組織的・計画的実践
 - イ 教育目標の具現化に向けた学年・学級経営の充実
 - ウ 児童・家庭・地域の実態に基づく特色ある教育活動の推進
 - エ 開かれた学校づくりの推進
 - オ 学校評価を生かしたP D C Aサイクルによる教育活動の改善と充実
- (2) 教職員の資質の向上
 - ア 学校研究課題への組織的・主体的取組
 - イ 適材適所の校務分掌による学校経営への参画意識の高揚
 - ウ 各自の得意分野づくり（一人一研究）
 - エ 校内研修の充実と校外研究会等への積極的な参加
- (3) 健康・体力の増進と安全教育の充実
 - ア 新体力テスト結果を踏まえた補強運動の継続的实施（犬伏チャレンジ）
 - イ 食に関する指導の充実
 - ウ 性に関する指導の充実
 - エ 感染症対策としての生活様式の徹底
 - オ 安全指導の強化（生活安全・交通安全・災害安全教育等）
 - カ 施設設備の安全点検の徹底
 - キ 地震・豪雨等に対応した危機管理体制の構築
- (4) 学習指導の充実
 - ア 基礎的、基本的な内容の確実な習得

- イ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善による質の高い学びの実現
- ウ 「めあて」の提示と「振り返り」の実施による「分かる授業」の展開
- エ 「書くこと」を取り入れた学習展開の工夫
- オ タブレットパソコンの活用による授業展開の確立
- カ ICT機器等の積極的活用による児童の学ぶ意欲の高揚
- キ 個に応じた学習指導の充実
- ク 家庭学習の奨励と確認による学習習慣の確立
- ケ 三義唐沢SSCとの連携による地域の教育力・教育資源の積極的活用
- (5) 道徳教育の充実
 - ア 全ての教育活動を通じた道徳性の育成
 - イ 特別の教科道徳の趣旨を踏まえた「考え、議論する道徳」の授業実践
 - ウ いじめの未然防止につなげる授業実践
 - エ 一人一人の成長を認め励ます個人内評価の実施
 - オ 小さな親切運動八か条唱和による実践意欲の高揚
- (6) 人権教育の推進
 - ア 人権尊重・生命尊重を基盤とした教育活動の実践
 - イ 児童一人一人の人権を尊重し、個に応じたきめ細かな指導の実践
 - ウ 異年齢集団活動を通じた豊かな人間性の育成、人権意識の向上
 - エ ボランティア活動、自然体験活動、高齢者や障害者、幼稚園児等との交流活動などの体験による、豊かな人間性の育成と人権意識の高揚
 - オ 人権が尊重された言語環境、学習環境、教室環境づくり
 - カ 教職員の研修の充実と保護者への積極的な啓発活動の実施
- (7) 児童指導の充実
 - ア 全教職員による認めて伸ばす児童指導体制の確立
 - イ 「黙想」による心の安定化
 - ウ 「立腰」「返事・あいさつ・靴揃え」指導による基本的な生活習慣の育成
 - エ 自己有用感を高める小善表彰「むくろじ賞」の積極的活用
 - オ 「全校合唱」「今月のうた」の取組による共感的人間関係の構築
 - カ 学業指導（集団づくり・授業づくり）の充実による開発的・予防的児童指導の推進
 - キ 「佐野市いじめ防止基本方針」及び「犬伏小学校いじめ防止基本方針」に基づいた指導体制の充実
 - ク 「心のさのし合言葉」「宣誓 STOP THE いじめ」の効果的活用
 - ケ 生活アンケートや教育相談等による問題行動の予防、早期発見・早期対応
 - コ 関係機関との積極的連携による児童支援の充実
 - サ 情報モラル教育等、家庭の教育力を高める積極的保護者支援
- (8) 特別支援教育の充実
 - ア 特別支援教育コーディネーターを中心にした校内体制の整備
 - イ 特別支援教育に関する校内研修の推進

- ウ 通常の学級における合理的配慮と個に応じた指導の実践
- エ 関係機関との積極的連携による効果的な指導と二次障害の防止
- オ 一人一人の進路や将来を見据えた適切な教育支援の充実
- カ 「入学支援シート」「小中連携支援シート」の積極的活用による学校間連携の推進
- (9) 特別活動の充実
 - ア 学校や地域の実態、児童の発達段階や特性を考慮した計画の作成と実践
 - イ 特別活動の特質と他の教育活動との関連の明確化による指導の充実
 - ウ 評価の観点の設定と児童一人一人のよさを伸ばす評価の実践
 - エ 話し合い活動に重点を置いた学級活動における自主的、実践的な活動
 - オ 児童会活動・クラブ活動における自発的、自治的活動の継続的展開
 - カ 児童の自主性を生かした学校行事の質的改善
- (10) 総合的な学習の時間の充実
 - ア 学校や地域の特色、児童の実態等を踏まえた全体計画の改善と充実
 - イ 各教科領域の指導内容との関連を図った指導の充実
 - ウ 問題解決的な学習や自然体験・社会体験的な学習の積極的推進
 - エ 地域の教育資源を活用した「佐野学」「犬伏学」の実践
- (11) キャリア教育の充実
 - ア 佐野市キャリア教育推進計画を踏まえた全体計画の作成
 - イ 教育活動全体を通じたキャリア教育の推進
 - ウ 望ましい職業観・勤労観育成に向けた地域との連携と体験活動の充実
- (12) 国際教育の推進
 - ア 日本及び他国の文化を理解し尊重しようとする態度の育成
 - イ A L Tや外国の人々と触れ合いによる互いに理解し合う態度の育成
 - ウ コミュニケーション能力を重視した外国語教育の推進
- (13) 情報教育の充実
 - ア I C Tの効果的な活用や情報モラル、著作権、情報セキュリティー等に関する校内研修の充実による教員の資質、能力の向上
 - イ タブレットパソコンを利活用した教育活動の実践
 - ウ 各教科の指導を通じたプログラミング的思考の育成
 - エ 児童の発達段階に応じた情報モラル教育の実践と保護者との効果的連携
- (14) 環境教育の充実
 - ア 教育活動全体を通じた環境教育の推進
 - イ 日常活動と環境問題との関連に気付くための豊かな感受性の涵養
 - ウ 掲示の工夫による教育環境の整備及び美化意識の育成
 - エ E S Dの視点を取り入れた環境教育の実践
 - オ 家庭や地域社会、関係機関との連携と地域人材・施設の活用推進
- (15) 小中一貫教育の推進
 - ア 佐野北小中一貫教育推進計画に基づいた子ども像の具現化
 - イ 中学校への接続を踏まえた系統性のある学習指導と児童指導の展開